

2023年6月12日
使用済燃料再処理機構
理事長 佐藤敏秀

使用済MOX燃料の再処理実証研究について

本年5月19日、電気事業連合会より、使用済MOX燃料の再処理技術の早期確立を目指し、仏国にて、使用済MOX燃料に関する再処理実証研究の実施に向けた取り組みを進める方針が公表され、本日開催された運営委員会において、同連合会より、再処理実証研究の実施に向けた取り組みを進める方針と実証研究の計画について説明を受け、当該研究における再処理機構の関与の方向性について確認しました。

使用済MOX燃料の再処理については、2030年代後半の技術確立を目途に研究開発に取り組まれるものと認識しており、今回の取り組みは、将来の日本の再処理技術確立に寄与するものと考えております。

当機構は、本実証研究における使用済燃料の再処理等の実施に関して、原子力発電における使用済燃料の再処理等の実施に関する法律（再処理等拠出金法）に基づき、再処理等の委託を担う方針であり、今後、国や事業者と連携し、実施に向けた具体的な検討を進めてまいります。

<添付資料>

[「使用済MOX燃料の再処理実証研究の計画について」\(電気事業連合会\)](#)

以 上